

環境に係る情報協議会 国営施設応急対策事業 篠津青山地区

1. 事業の概要(案)

《事業の目的》

本地区は、北海道石狩振興局管内の中央部、石狩郡当別町に位置する農業地帯であり、水稻を基幹として畑作物(小麦、大豆等)、野菜類(かぼちゃ等)、花き類(ユリ、カーネーション)を組み合わせた複合営農が展開されている。

地区内の基幹水利施設は、国営篠津土地改良事業(S26～S46)等により整備されたが、青山ダム取水施設のうち調整ゲートに動作不良による不測の事態が発生するとともに、その他施設においても凍害等による劣化が著しく、農業用水の安定供給に支障を来すとともに、施設の維持管理に多大な労力を要している。

このため、本事業では、これら施設の機能を保全するための整備を行うことにより、農業用水の安定供給及び施設の維持管理の労力の軽減を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定に資するものである。

《受益面積》

3,169ha(水田3,169ha)

《主要工事計画(案)》

青山ダム(改修)

2. 環境に対する考え方

(「当別町田園環境整備マスタープラン」より)

《農村環境の現状と課題》

【現状】

当別町の河川はすべて石狩川水系で、最終的に石狩川に流入し日本海に注がれる景観豊かな町である。また、本町の地形は高い山や陰しい山がなく、大規模な土砂の崩壊の事例が少ないものの融雪時、異常降雨時における農地災害や河川による浸水等が見られる地域がある。

【課題】

当別町を流れる石狩川水系を、恵みと豊かな母なる川として流域の歴史と文化を生み、地域の生活基盤を支えているという基本理念に基づき、親水機能・景観性の整備促進や自然生態系や自然浄化力の維持に配慮した河川や農業用排水路の改修を目指す。

《環境保全の基本的考え方》

- ・地域特性を活かした基盤整備を推進する。
- ・自然環境に配慮した基幹水利施設の改修を推進する。

3. 環境配慮のための環境調査

《基本方針》

青山ダム地点において、鳥類調査、魚類調査を実施し、環境配慮計画の妥当性を確認する。

《調査内容》

○調査内容:鳥類調査、魚類調査

○調査方法:ポイントセンサス法(鳥類調査)、採捕調査(魚類調査)

4. 環境配慮計画

《基本方針》

青山ダムの工事において、生息・生育する動植物の保全への配慮を図る。

《取り組み内容》

【生態系への配慮】

- ・工事实施前は、猛禽類の生息調査及び営巣の確認を行う。営巣が確認された場合は、工事に用いる施工機械の騒音による営巣への影響が懸念されるため、繁殖時期を避けた施工時期として設定し、低騒音型の施工機械を使用する。
- ・当別川には良好な水質環境を必要とする希少な生物が生息していることから、濁水流出の抑制に向けた濁水処理施設を設置し、濁水処理を行う。